

松江第三中学校応援団実践報告書

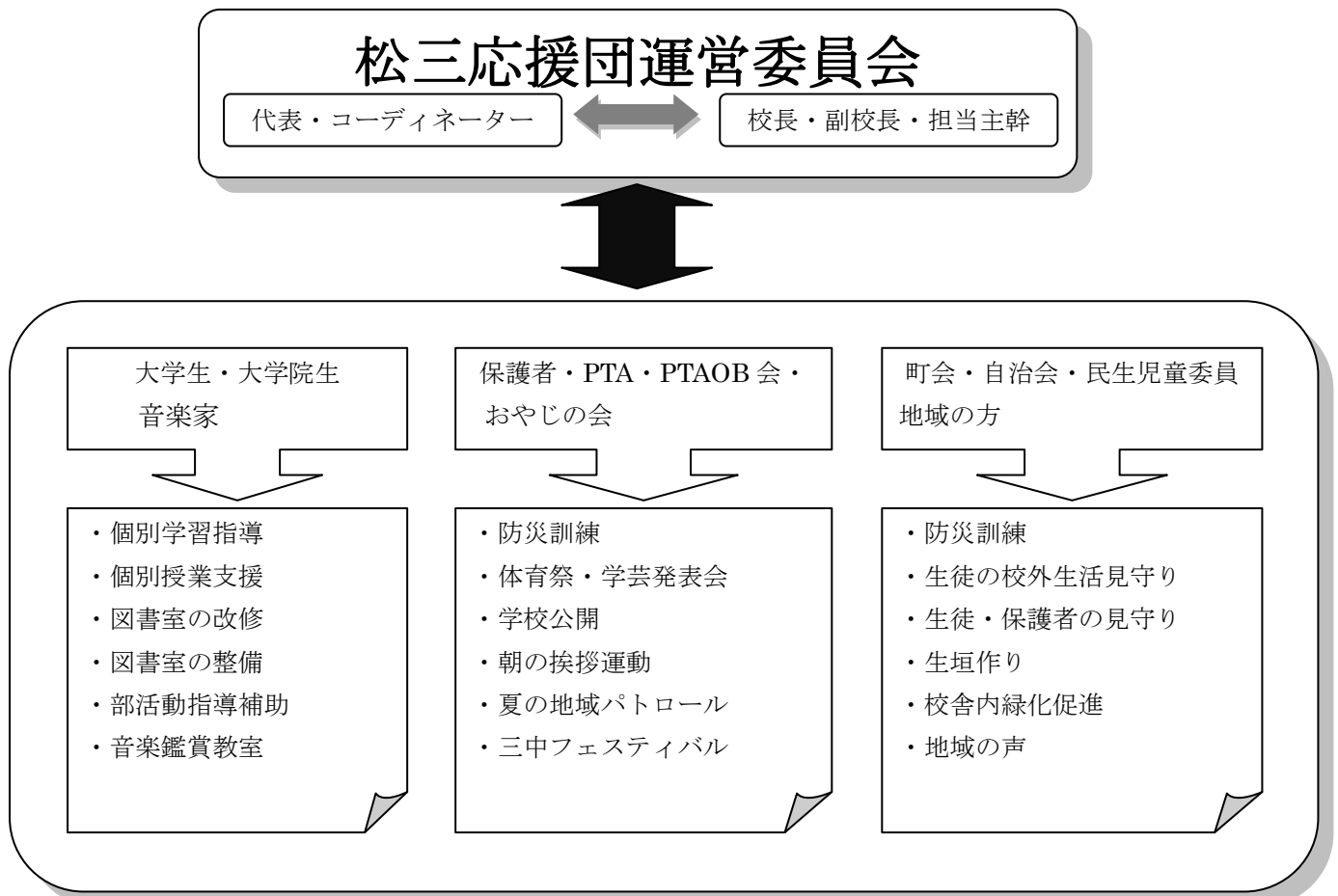
1 校長及び代表者氏名

松江第三中学校長 三島 紀人
代表 上野 康雄

2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
防災・安全・安心	地域・学校一体の防災訓練 朝の挨拶運動 夏の地域パトロール	○町会・自治会、行政、学校が一体となって防災訓練を行う。 ○保護者・生徒会と一緒に挨拶運動を展開する。 ○保護者と教員と一緒に地域パトロールをする。
学習活動・部活動	個別学習指導 部活動支援	○特別に学習指導が必要な生徒を個人指導する。 ○顧問教師や外部指導員の指導を補助する。
環境整備	図書室整備 校舎周囲生垣作り 校舎内緑化	○図書室の改修、本の修理や整頓を行う。 ○校庭周囲の生垣作りや校舎内の植木・草花の増殖をする。
学校行事・PTA 行事の支援	音楽鑑賞教室の実施 三中フェスタの支援	○「本物」のピアノや箏の演奏に触れさせる。 ○アームレスリング実施や飲食提供など内容を充実させる。

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

第1に、防災訓練です。9月の土曜授業日に、地域と学校が一体となった防災訓練を実施しました。2時間の授業公開の後、地震及び堤防決壊を想定して行いました。学校にいる生徒と教職員、授業参観中の保護者の皆様に加え、本校に避難してきたということで地域の方々が、また、本校避難所開設担当の方々も参加してくださいました。校庭への避難、それに続く校舎3階以上への避難の訓練をしました。地域の方々には避難所開設担当の方々の指示の下、町会・自治会毎に避難者名簿への記入もしていただきました。

その後、町会・自治会・保護者代表の方、避難所開設担当の方、教職員で協議会を行い、区危機管理室の方のご指導をいただきながら本校が避難所になるときのための共通理解を図りました。

第2に、教育環境の整備です。地域の方のご指導を得て、青竹と棕櫚の紐を材料にして校庭周囲の生垣作りを職員がしました。ときには生徒たちも参加しました。校舎内観葉植物の増殖の方法も教えていただきました。また、図書室のレイアウトを一新し、魅力ある落ち着いた雰囲気的空間にいただきました。

第3に、学習支援です。大学生・大学院生が、個別の指導が必要な生徒をTTで授業に入ってくださいたり、図書室で個人指導をしてくださいたりしました。

特記しませんが、保護者や地域の皆様方の、諸行事等学校教育活動への応援は申すまでもありません。

<課題>

外部人材力の導入について教職員にそれほどアレルギーはありません。にもかかわらず、生徒たちに直接かかわる授業をはじめとする学校教育活動への応援団導入が進んでいません。これは、応援団運営委員会があまり機能していないためであり、校長が指導性を発揮していないことによります。

5 代表より

松江第三中学校応援団が発足して3年目が過ぎようとしています。

最初から手探りの状態で始めた学校応援団ですが、未だに大黒柱になる活動は定まっていません。小さなことから一つひとつを地道に進めていくことが重要であると思っております。

松江第三中学校の学校応援団の活動としては、学校周りの環境整備をはじめ、地域と学校との橋渡し役として、学校行事(特に防災訓練など)への地域の協力を求めて、積極的な参加を促しています。また、PTA活動へは おやじの会、PTAOB会などと協力して積極的に参加しています。

今後は、生徒たちへの関わり合いを深める活動を考えて、もっと学校応援団を地域、また保護者や生徒たちに周知できるような活動を行ってまいりたいと思っております。

6 学校長より

江戸川区中央の地に開校して66年、たくさんの皆様方に支えていただいていた本校です。この3月で卒業生は14,400人になります。地域の会合で、街を歩いていて、朝校門に立っていて、授業公開のときに、学校行事の折に、多くの方々がおっしゃいます。この学校の〇期生です。昭和〇年に卒業しました。息子が三中を……。孫が今三中で……。私がいたときの校舎は……。俺の担任の先生は……。

それだけ大切な大切な学校です。立派に生徒たちを育てなければなりません。生徒たちは立派に育たなければなりません。そうしたときに、学校応援団は本当にありがたい仕組みです。様々にお考えがありがたいとは思いますが、まずは本校生徒たちを、本校を、応援してください。「無条件」で応援してください。率直に本校の課題を言うことができ、ときには甘えることもできます。

応援団の皆様方には、当然のことにお仕事があり生活があります。心身ともにお忙しいその合間を遣り繰りしての応援団活動、ただただ、ありがたく思うばかりです。